

JACET Kansai Newsletter

No. 62 August 4, 2012

社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 野口 ジュディー (武庫川女子大学) (Chapter President: Judy Noguchi, Mukogawa Women's University)

事務局: 〒603-8555 京都府京都市北区上賀茂本山 京都産業大学 文化学部 第3研究室棟 植松茂男研究室内

(Chapter Office: c/o Shigeo Uematsu, Faculty of Foreign Studies, Kyoto Sangyo University)

E-mail: jacetkansaichapter@gmail.com URL: <http://www.jacet-kansai.org/>

学生と共に学ぶ

理事 木村博是

2012年7月27日、ロンドンオリンピックの開会式で、俳優ケネス・ブラナーが、昔の英国紳士のいでたちで登場し、ダニー・ボイル舞台監督が着想を得たというシェイクスピア『テンペスト』の第3幕2場のキャリバンのセリフ “The isle is full of noises, / Sounds, and sweet airs, that give delight, and hurt not. / Sometimes a thousand twangling instruments / Will hum about mine ears; and sometimes voices, / That, if I then had wak'd after long sleep,....” (この島はいろいろな音でいっぱいだ。楽しませてくれるだけで、悪さはしないよ。ときには千もの楽器が一斉に耳元で鳴り響いたり、長い眠りから目覚めたとき、また眠くなるような声が聞こえたりする...) を声高らかに熱演した。ここから「驚きの島々」のテーマで、英国の成り立ちや産業革命などの歴史が紹介され、見ごたえのあるミュージカル風のショーが展開した。

『テンペスト』では、かつてミラノ公爵だったプロスペローが、弟の陰謀により孤島に流され、復讐を果たそうと魔法の力で嵐を起こす。そのクライマックスで魔法を使い、計画を遂行したプロスペローが次のように言う。

I'll break my staff,

Bury it certain fathoms in the earth,

And, deeper than did ever plummet sound,

I'll drown my book. (*The Tempest*, V. i.54-57)

(私はこの魔法の杖を折って、幾層もの地中に埋め、それから測量の鉛も届かぬ深海に、この本を沈めよう)

プロスペローは、復讐よりも徳を施すことの気高さに気づき、魔法を捨てる決意をする。劇のテーマは赦しと解放だが、罪を後悔する者だけでなく、後悔のことは語ることをない者もみんな赦し、和解のロマンス劇の世界を作り出している。

大学の授業は、学生と共に作る90分のドラマである。今、春学期のドラマを終えて、1区切りががついたとき、プロスペローの心境にも似た、さわやかで落ち着いた気持ちで、春学期の授業を振り返りたい。うまく授業ができた時もあれば、失敗したと感じた時もあ

る。そしてその反省の上に立って、秋学期の授業に役立てたい。プロスペローの心境であれば、冷静に何事にも心穏やかに対応できるであろう。

学生から質問があれば、共に学ぶ機会が与えられることになる。質問に即答できればいいのだが、時には思いがけず、学生から課題を与えられることもある。

春学期に前置詞の語法に関する質問があった。次の2つの英文は、アメリカ人が書いたものである。

1. For 350 yen, customers can rent a CD for up to a week.

2. You can get CDs at reasonable prices at that store.

このように、値段を表すのに *for* と *at* という2つの前置詞が使われている。この2つは入れ替えが可能なのかという質問である。BNCで検索してみると、*at* が文頭になっている用例もあるし、*for* が文中に来ているものもある。では、*at* と *for* は完全に同じなのだろうか。

答えは、上記の2のセンテンスの場合は *at* を *for* にすることが可能だが、1のセンテンスに *at* を使うことはできない。文頭の前置詞に *at* が使えるのは、次のような場合に限られる。

3. At 350 yen, it is a good bargain.

つまり、センテンスの後半に置かれている主節の主語が「人でない」なら、文頭に *at* を使うことができる。しかし1のセンテンスの場合は、後置されている主節の主語が *customers* であるため、*for* しか使えない。一方、*for* は文頭でも文中でも、特に何の制約もなく使用することができる。だから、2のセンテンスの *at* を *for* と入れ替えることは可能である。

4. You can get CDs for reasonable prices at that store.

教員は普段、このような疑問を持つことがあまりなく、質問を受けて、初めて考えるというのが現実ではないだろうか。学生の質問に時々ハッとさせられる。ふだん何気なく見ている英文に、思いがけない驚きが潜んでいる。文法書や辞書からは答えが出てこないような微妙な表現は、教員にとって目からウロコが落ちるような発見である。

さらに「ライティング」の授業では、日本文を出題

者の意図とは異なる解釈をして英訳する学生もいて、言葉の難しさを実感した。

たとえば、「名物」という日本語を popular products と訳した学生がいた。辞書では famous products となっており、『広辞苑』にも「その土地の有名な産物」と説明しているので、famous products が正しい英訳である。しかし名物は、観光客がみやげとして買い求めるものとしては人気商品であるため、popular products という表現も、状況次第では間違いとはいえない。

言葉は絶えず変化している。かつて、not only A but also B が主語の場合は B の主語に動詞を一致させることを問う問題が流行った時期があった。ところが最近では、この表現を複数扱いするネイティブが増えてきている。そのため、一時期は Not only Mike but also his brother plays the guitar. と教えていたが、今では Not only Mike but also his brother play the guitar. も正しい英文である。このように、以前は誤りとされていたものが、最近では容認されていることもある。

質問には常に寛容な心で、学生と共に学びたいと思う。

■ 2012 年度春季大会の報告 ■

2012年度関西支部春季大会が2012年6月16日(土)に大阪大学サイバーメディアセンター(豊中キャンパス)にて開催されました。「原点に立ち返って考える大学英語教育：未来への新たな第一歩」を大会テーマに掲げ、昨年40周年という大きな節目を迎えた関西支部にとり、新たな出発となる支部大会でした。大会テーマに関する神保尚武会長によるご講演(「原点に立ち返って考える英語教育」)から始まり、午後には5件の研究発表、1件の実践報告、そして2件のワークショップへと続きました。午前中は大雨にもかかわらず、多くの方が会場に足を運んでくださり、最終的に約120名の方にご参加頂きました。大会がスムーズに運営でき、また盛況に終えることができたのは、周到的な準備をしていただいた研究企画委員の先生方の献身的なお力添えと支部長、副支部長、幹事の先生方のサポートのおかげでした。また会場校の先生方のご尽力には誠に感謝致します。これからの関西支部にとって実りある一日となりました。ご参加いただきました会員の皆様、本当にありがとうございました。

The JACET Kansai Chapter Spring Conference (Theme: "Back to the Basics of University English Education: First Steps toward a Better Future") was held on June 16 at the Cybermedia Center, Toyonaka Campus, Osaka University. The plenary lecture on the conference theme was presented by Professor Hisatake Jimbo (President of JACET), followed by five research reports, one report on classroom activity and two workshops.

Despite the heavy rain in the morning, the 120 participants attest to the success of the event, thanks to the dedicated efforts of the Research Planning Committee members. Special appreciation goes to the faculty members of Osaka University for making it possible to utilize such an excellent venue and their commitment to the success of the conference.

■ 2012 年度第 1 回支部講演会の報告 ■

JACET 関西支部 2012 年度第 1 回講演会(招聘講師による講演)が、2012 年 7 月 28 日(土)に同志社大学今出川校地新町キャンパス臨光館 204 教室で開催されました。

司会：西納 春雄 先生(同志社大学)

講師と演題：

鎌倉 義士 先生(愛知大学)

「英語教育に役立てるコーパス研究－日本人英語学習者の前置詞使用の分析」

講演には 37 名の参加があり、発表後は講師の先生方と参会者との活発な議論が展開されました。多くの皆様のご参加、誠にありがとうございました。

The 1st Lecture Meeting of the 2012 academic year was held on July 28th at Imadegawa Shinmachi Campus, Doshisha University, with 37 participants. Much interest was generated by the presentation of Dr. Yoshihito Kamakura of Aichi University on the application of corpus work to English language education.

■ 2012 年度関西支部秋季大会のお知らせ ■

2012年度関西支部秋季大会は、11月24日(土)に京都産業大学にて開催されます。8月1日よりWEBフォームからの発表応募がJACET 関西HPで開始されています(<http://www.jacet-kansai.org>)。発表募集の締め切りは9月24日(月)です。

本学会では、大会の活性化を目指し、これまでより発表枠を大幅に広げる予定です。学生会員も含め、多くの皆様からのご応募をお待ちしております。

The 2012 Fall Conference of the JACET Kansai Chapter will be held on Saturday, November 24th at Kyoto Sangyo University. A web-based proposal form is available at the JACET Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>) from August 1st. The submission deadline is September 24th (Mon).

JACET Kansai Chapter plans to increase the number of presentation slots for the Fall Conference. We welcome presentation proposals from all members, including our student members. Come and share your work with the JACET community!

募集要領

この大会でのワークショップ・コロキウム・研究発表・実践報告・ポスター発表を募集致しますので、発表をご希望の会員の方は、次の要領で関西支部事務局までご応募ください。

1. 発表は、英語教育および関連分野に関する内容で、未発表のものに限ります。
2. 発表者は、共同研究者も含めて、申込時にJACETの会員である必要があります。
3. 発表言語は、日本語または英語です。
4. 発表種別・時間に関しては、以下の通りです。

ワークショップ：発表者は1名～数名。参加者にタスク活動を行わせる。90分。

コロキウム：発表者は数名。特定のテーマについての議論を行う。90分。

研究発表：理論的、実証的な研究成果に関する発表。30分（発表20分＋質疑10分）。

実践報告：授業実践やカリキュラム改革に関する報告。30分（発表20分＋質疑10分）。

ポスター発表：研究・報告内容について参加者と自由に議論を行う。コアタイム60分。

5. 応募についてはJACET関西支部ホームページ (<http://www.jacet-kansai.org>) の「発表申込」をクリックして頂き以下の応募情報を入力、または選択してください。

(応募情報)

- a) 発表形式：ワークショップ、コロキウム、研究発表、実践報告、ポスター発表の別
- b) 発表題目（日本語および英語）
- c) 発表者情報（共同発表者は氏名と所属のみ）：氏名（漢字とローマ字）、所属（日本語と英語）、E-mailアドレス
- d) 発表に使用する言語（日本語もしくは英語）
- e) 使用する機器

(発表要旨)

- a) 内容：「研究発表」の場合は、目的、仮説（リサーチクエスション）、研究方法、結果、考察を、「実践報告」の場合は、背景、具体的内容、実践結果に対する考察を簡潔に明記ください。「ワークショップ」「コロキウム」「ポスター」の場合も扱う内容に応じ、これらに準ずることとします。いずれの場合も引用文献リストは要旨に含めません。

- b) 分量：日本語の場合は350字～400字、英語の場合は200～250 wordsです。
 - c) その他：母語以外の言語で要旨を作成する場合は、あらかじめネイティブチェックを受けた上で提出して下さい。
6. 応募の期限は、2012年9月24日（月）午後11時59分です。
 7. 審査は、JACET関西支部研究企画委員会にて行います。
 8. 審査結果は、締切り後2週間程度でE-mailにて通知します。またフィードバックを必要に応じて行います。

Call for Papers

JACET members are invited to present proposals for research papers, practical reports, poster sessions, workshops, and colloquia.

The conditions and procedures for proposals are as follows:

- 1) Proposed topics should be relevant to English education and related fields. The proposed material should not have been presented elsewhere.
- 2) Prospective presenters (both representative presenters and collaborators) must be JACET members at the time of submission.
- 3) The language for presentation should be either English or Japanese.
- 4) Presentation types and time allotments are as follows:

Workshops: Presenter(s) will guide participants in specific tasks. 90 minutes.

Colloquia: Each presenter gives a presentation followed by discussion among the presenters and with the floor. 90 minutes.

Research papers: Presenter(s) will describe theoretical or empirical research. 30 minutes (20 min for presentation; 10 min for Q & A).

Practical reports: Presenter(s) will describe classroom activities or ELT curriculum innovation. 30 minutes (20 min for presentation; 10 min for Q & A).

Poster presentations: Presenter(s) will participate in one-on-one discussion of research or practical report using a poster. 60 minutes (core time).

- 5) To submit your proposal, please go to the JACET Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>) and click on “Paper Submission” to enter and select the following

information.

A) Application form:

- a) Type of proposal (research paper, practical report, poster session, workshop, or colloquium)
- b) Title of proposal (English and Japanese)
- c) Information about applicant(s): name, affiliation, e-mail address
- d) Language for presentation (English or Japanese)
- e) Equipment required

B) Abstract:

- a) Describe the purpose of the research, research question(s), research method(s), results and discussion. For a practical report, give the background of the report, details, conclusion, and other relevant information. Do not include references in the abstract.
 - b) Should be 200-250 words if in English or 350-400 characters if in Japanese.
 - c) If not a native speaker of the language used, have a native speaker check the abstract before submission.
- 6) Submission deadline: 11:59 pm, September 24, 2012.
- 7) The proposals will be peer reviewed by the Research Planning Committee.
- 8) Review results and feedback, as necessary, will be sent by e-mail two weeks after the deadline.

■ 紀要編集委員会より ■

今年度刊行の第 15 号支部紀要は、招待論文、一般投稿論文に加え、支部大会や全国大会で発表された内容に基づく論文を募集します。論文投稿締め切り期日は 10 月 15 日(月)となっております。JACET 関西支部会員の皆様におかれましては、研究・実践の成果を支部紀要で報告していただけるように、投稿規定をご確認の上、第 15 号紀要にも奮ってご応募ください。

投稿期限：2012 年 10 月 15 日(月) 午後 11:59

論文送付先：紀要編集委員会 事務局長

金丸敏幸（京都大学）

jacetkj [AT] gmail.com

提出方法：電子メールの添付ファイルのみ（原稿郵送は不要）

※ 受領後 3 日以内に確認の返信が届きます。万一 3 日経っても返信が届かない場合は、金丸まで再度ご連絡下さい。

※ 提出方法の詳細は、JACET 関西支部ホームページをご覧ください。

(<http://www.jacet-kansai.org/file/toukoukitei.pdf>)

重要な日程：

2012 年 10 月 15 日(必着) 投稿原稿締め切り
12 月 15 日 審査結果通知
2013 年 1 月 31 日(必着) 修正原稿締め切り
3 月 31 日 刊行

JACET Kansai Journal Call for Papers

Kansai Chapter members are welcome to submit manuscripts for consideration for publication in JACET Kansai Journal (JKJ) No. 15.

Papers should be related to research on college English language education or relevant areas. The JACET Kansai Journal especially welcomes papers that have been presented at JACET chapter or national conferences within the past year. Please check the guidelines for details on submission procedures and requirements available at <http://www.jacet-kansai.org/file/toukoukitei.pdf>.

Submit manuscripts to:

Toshiyuki KANAMARU, Dr.
JACET Kansai Journal Secretariat
Kyoto University
jacetkj [AT] gmail.com

If you do not receive a message confirming the receipt of your manuscript within 3 days, please request confirmation. Only e-mail submission will be accepted. Postal submission of paper-based manuscripts will NOT be accepted. Prepare your manuscript according to the JKJ instructions using Microsoft Word. Send it as an attached file with an email message to Dr. Toshiyuki KANAMARU, Secretariat, JACET Kansai Journal.

Important Dates:

- Deadline for manuscripts:

October 15, 2012 (via email as an attached file)

- Announcement of editorial decision:

December 15, 2012

- Deadline for receipt of revised manuscripts:

January 31, 2013 (via email as an attached file)

- Publication:

March 31, 2013

Refer to the guidelines and template at the JACET Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>).

■ 今後の JACET 関西支部開催講演会 ■

JACET 関西支部では、下記の通り、年度内にあと 2 回の講演会を予定しております。

第2回：2012年10月6日（土）

ライティング指導研究会企画特別シンポジウム

場所：神戸国際会館を予定

(<http://www.kih.co.jp/index.php>)

第3回：2013年3月9日（土）

リスニング研究会企画特別シンポジウム

場所：関西学院大学大阪梅田キャンパスを予定

(<http://www.kwansei.ac.jp/Contents?cnid=5743>)

※参加費：JACET 会員は無料。現在のところ、事前申し込みの必要はございません。

要旨などの詳細は、開催が近づきましたら支部 HP に掲載致しますのでご覧下さい。

JACET Kansai Chapter will hold two other lectures in this academic year as follows:

- 2nd lecture meeting by the Writing Research Group on October 1st at Kobe International House (<http://www.kih.co.jp/index.php>)
- 3rd lecture meeting by the Listening Research Group on March 3rd, 2012, at Kwansei Gakuin University, Osaka Umeda Campus (<http://www.kwansei.ac.jp/Contents?cnid=5743>).

Refer to details at the JACET Kansai Chapter home page (<http://www.jacet-kansai.org>).

Fee: JACET member, free; nonmember, ¥500. No need to pre-register.

■事務局便り■

支部会員向けの各種案内の配送やメール・リストによる情報の配信に使用いたしますので、会員情報（住所、メールアドレス、所属、電話番号など）が変更された方は、必ずご連絡ください。

事務局からのご連絡のメールが、宛先不明等で数多く戻って参ります。今一度、JACET へお届けになっているメールアドレスをご確認ください。

紀要、講演会案内フライヤー、ニューズレターなどのお届けに支障が生じるおそれがございますので、ご所属先や郵送先住所情報についても、今一度ご確認ください。

なお、関西支部では名簿の作成・管理は行っておりません。ご異動等のご連絡は、本部事務局 (jacet@zb3.so-net.ne.jp) までお願いいたします。

Please immediately report any changes in your address, affiliation, e-mail address, telephone numbers or other personal information to **JACET headquarters** (jacet@zb3.so-net.ne.jp).